

# 平成 29 年度 事業報告書

自：平成 29 (2017) 年 4 月 1 日

至：平成 30 (2018) 年 3 月 31 日

## 事業の状況

### I 公益目的事業 (公 1)

#### 1 演奏家の育成事業 (育成)

##### (1) 新進演奏家育成プロジェクト

＝文化庁委託事業「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」＝

新進演奏家育成プロジェクトは、文化庁委託事業「平成 29 年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」に申請し採択された事業で、文化庁と日本演奏連盟の共催事業として下記の①から④までの 4 つのプロジェクトを実施した。

##### ①「リサイタル・シリーズ」の開催

(札幌 2 回、東京 10 回、名古屋 2 回、京都 1 回、大阪 4 回、大分 1 回 計 20 回)

各地域で厳正な実技オーディションを実施し、優秀な若手演奏家を選抜してリサイタル・デビューの場を提供した。リサイタル・シリーズは 29 年度で通算 140 回を数えたが、従前の「演連コンサート」の名称で開催していた時期を含めると、460 人を超える若手演奏家を世に送り出したことになり、若手演奏家のプロデビューの登竜門としてその存在を確固としたものになっている。

当連盟では、若手演奏家がリサイタルという場で存分に力を発揮できるよう精神面また経済面で支えるとともに、プロの演奏家として活動していく上でこのコンサートが重要なキャリア形成につながるよう、全面的なサポート体制で取り組んだ。

##### ・「リサイタル・シリーズ TOKYO」東京文化会館小ホール

#61 平成 29 年 7 月 13 日 (木) 三原未紗子ピアノ・リサイタル

#62 平成 29 年 7 月 27 日 (木) 石川武蔵ピアノ・リサイタル

#63 平成 29 年 8 月 27 日 (日) 深澤麻里ヴィオラ・リサイタル

#64 平成 29 年 9 月 17 日 (日) 栗原麻樹ピアノ・リサイタル

#65 平成 29 年 9 月 20 日 (水) 岩倉孔介ピアノ・リサイタル

#66 平成 29 年 10 月 2 日 (月) 小島加奈子ピアノ・リサイタル

#67 平成 29 年 11 月 28 日 (火) 石原妙子ソプラノ・リサイタル

#68 平成 29 年 12 月 6 日 (水) 佐藤まり子ヴィオラ・リサイタル

#69 平成 30 年 1 月 17 日 (水) 堀口憲一オーボエ・リサイタル

#70 平成 30 年 1 月 25 日 (木) 市川友佳子ヴァイオリン&ヴィオラ・リサイタル

##### ・「リサイタル・シリーズ OSAKA」いずみホール 協賛：いずみホール

#25 平成 29 年 7 月 20 日 (木) 内藤裕子ピアノ・リサイタル

#26 平成 29 年 9 月 26 日 (火) 細川泉ヴィオラ・リサイタル

#27 平成 29 年 11 月 15 日 (水) 柳響麗ヴァイオリン・リサイタル

#28 平成 29 年 12 月 7 日 (木) 金岡伶奈ソプラノ・リサイタル

##### ・「リサイタル・シリーズ SAPPORO」札幌コンサートホール Kitara 小ホール

#13 平成 29 年 12 月 22 日 (金) 三上絵里香ピアノ・リサイタル

#14 平成 30 年 1 月 26 日 (金) 佐々木アンリソプラノ・リサイタル

##### ・「リサイタル・シリーズ NAGOYA」ザ・コンサートホール(電気文化会館)

#13 平成 29 年 11 月 29 日 (水) 福井悠大ピアノ・リサイタル

#14 平成 29 年 12 月 19 日 (火) 大友郁ピアノ・リサイタル

- ・「リサイタル・シリーズKYOTO」 京都コンサートホール・アンサンブルホールムラタ  
#8 平成30年2月2日(金) 原由莉子ピアノ・リサイタル
- ・「リサイタル・シリーズOITA」 iichiko 総合文化センター・音の泉ホール  
#5 平成30年1月13日(土) 松林紗代クラリネット・リサイタル

②「オーケストラ・シリーズ」の開催(6回)

全国6都市において各地域のプロ・オーケストラの協力を得て共催事業として開催した。各地域の音楽大学、音楽団体、教育者等から推薦を受けた応募者を厳正なる実技オーディションによって選抜し、合格者に地域のプロ・オーケストラと協演する機会を提供した。現在、若手演奏家がプロ・オーケストラと協演できるチャンスはほとんどないが、プロ・オーケストラと共演するということは、技術的にもまた精神的にも高いレベルが要求され、それゆえに共演することによって得られるものは計り知れない。プロ・オーケストラとの共演は、まさに国の支援を得ることによってのみ実現可能な事業であり、このシリーズに寄せる期待は大きい。

- ・第37回 広島 平成29年12月22日(金) JMS アステールプラザ大ホール  
演奏：広島交響楽団 指揮：末廣誠  
出演：藤井麻里映(Sop)、田中郁也(Vn)、金川歩(Sop)、保田奏子(Mb)、  
武崎創一郎(B-Tb)  
共催：(公社) 広島交響楽協会  
後援：中国新聞社
- ・第38回 大阪 平成30年1月24日(水) ザ・シンフォニーホール  
演奏：日本センチュリー交響楽団 指揮：大勝秀也  
出演：高崎雅紀(Ob)、松川暉(Vn)、東紗衣(Cl)、五田碧(Pf)  
共催：(公財) 日本センチュリー交響楽団
- ・第39回 名古屋 平成30年1月28日(日) 三井住友海上しらかわホール  
演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団 指揮：大井剛史  
出演：宇多村仁美(Sop)、佐藤有沙(Vc)、小池真衣(Pf)、森岡日向野(F1)、  
小玉裕美(Vn)  
共催：(公財) 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- ・第40回 仙台 平成30年2月3日(土) 日立システムズホール仙台コンサートホール  
演奏：仙台フィルハーモニー管弦楽団 指揮：鈴木織衛  
出演：小野綾子(Sop)、熊田享徳(Br)、阿部友紀(Ob)、溝根伸吾(Hrn)、  
社本名央(Vc)  
共催：(公財) 仙台フィルハーモニー管弦楽団
- ・第41回 福岡 平成30年2月3日(土) FFGホール  
演奏：九州交響楽団 指揮：飯森範親  
出演：木村睦美(Hrn)、田浦彩夏(Sop)、藤野るか(F1)、原田遼太郎(Cb)、  
吉田菜々子(Pf)  
共催：(公財) 九州交響楽団
- ・第42回 札幌 平成30年2月11日(日) 札幌コンサートホールKitara 大ホール  
演奏：札幌交響楽団 指揮：現田茂夫  
出演：板東由依(Sop)、佐藤悠光(Eu)、横山瑠佳(Pf)、水口真由(Pf)、  
入川奨(Mb)  
共催：(公財) 札幌交響楽団／北海道新聞社  
協賛：(公財) 道銀文化財団  
後援：北海道／札幌市／札幌市教育委員会

③「新進芸術家海外研修員コンサート」の開催（1回）

文化庁新進芸術家海外研修制度により、海外で研鑽を積んだ新進演奏家の成果発表の場として、29年度はオルガンとピアノの下記の2名の方によるジョイントリサイタルを開催した。なお、当日使用したオルガンは会員の松居直美氏のご提供によるもので、松居氏の全面的な協力のもと、コンサートを実施することができた。

- ・平成29年12月14日（木）東京オペラシティ・リサイタルホール

出演：長田真実(Org)、寺元嘉宏 (Pf)

④「声楽家のための公開マスタークラス」 講師：伊原直子

国内外のトップクラスの演奏家を講師に招き、オーディションで選抜した若手演奏家に一流のステージで指導を受けてもらう事業で、平成29年度はアルト歌手で東京藝術大学名誉教授、聖徳大学教授の伊原直子氏を講師に、四国・高松と東京で声楽家のための公開マスタークラスを開催した。国内外のオペラ劇場やコンサート活動で数多くのステージを積んでこられた伊原氏ならではの的確かつ示唆に富んだ助言により、非常に密度の濃い2日間の公開マスタークラスを開催することができた。高松では四国二期会の協力を得て、当連盟として初めて四国での事業を実施することができた。

- ・平成29年9月29日（金）香川／サンポートホール高松第1小ホール

協力：四国二期会

受講生／宮内知代、近藤佳穂子

- ・平成29年10月10日（火）東京／東京オペラシティ・リサイタルホール

受講生／糀谷栄里子、吉原朋子、金子紗弓、丹呉由利子

(2) 文化庁新進芸術家海外研修制度の協力＜平成30年度派遣対象＞

新進芸術家海外研修員の音楽分野の応募の取りまとめを行なった。

研修期間	日演連受付者数	左記の合格者数
1年研修（200～350日）	5名	2名
2年研修（700日）	1名	1名
特別研修（80日）	1名	0名
高校生研修（350日）	1名	0名
計	8名	3名

2 音楽普及活動（自主公演）

「2018 都民芸術フェスティバル」の主催公演

＝助成：東京都＝

都民芸術フェスティバルは東京都が助成する新春を飾るフェスティバルで、毎年1月から3月にかけて実施しており、今回で50回目を数えた。平成29年度は広範な芸術ジャンルの中から11部門、111公演が実施され、当連盟はこのうちのクラシック音楽部門を下記のとおり開催した。

(1) オペラ（3団体 8公演）

- ・マスネ作曲「ナヴァラの娘」（日本初演）、レオンカヴァッロ作曲「道化師」

（公財）日本オペラ振興会・＜直接事業＞

藤原歌劇団公演 平成30年1月27日（土）、28日（日）2回公演

東京文化会館大ホール

- ・團伊玖磨作曲「夕鶴」（公財）日本オペラ振興会・＜直接事業＞

日本オペラ協会公演 平成30年2月17日（土）、18日（日）2回公演

新宿文化センター大ホール

- ・ワーグナー作曲「ローエングリン」(公財)東京二期会・<直接事業>  
東京二期会オペラ劇場 平成30年2月21日(水)～25日(日)4回公演  
東京文化会館大ホール
- (2) オーケストラ・シリーズ(8団体 8公演) 東京芸術劇場コンサートホール
  - ・平成30年1月19日(金)演奏:東京フィルハーモニー交響楽団  
指揮:太田弦 ヴァイオリン:前橋汀子
  - ・平成30年1月31日(水)演奏:NHK交響楽団  
指揮:川瀬賢太郎 ピアノ:小川典子
  - ・平成30年2月8日(木)演奏:東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団  
指揮:高関健 ピアノ:桐榮哲也
  - ・平成30年2月20日(火)演奏:東京交響楽団  
指揮:ロッセン・ゲルゴフ フルート:高木綾子 ハープ:吉野直子
  - ・平成30年2月28日(水)演奏:新日本フィルハーモニー交響楽団  
指揮:井上道義 ヴァイオリン:辻彩奈
  - ・平成30年3月5日(月)演奏:読売日本交響楽団  
指揮:小林研一郎 ピアノ:仲道郁代
  - ・平成30年3月13日(火)演奏:日本フィルハーモニー交響楽団  
指揮:大井剛史 ヴァイオリン:大谷康子
  - ・平成30年3月15日(木)演奏:東京都交響楽団  
指揮:梅田俊明 ヴァイオリン:パーヴェル・ミリュエコフ
- (3) 日本の歌シリーズと室内楽シリーズ(3公演) 東京文化会館小ホール
  - ・平成30年1月24日(水)「日本人の愛のかたち Vol.2くうた～歌～唄～詩～」  
ソプラノ:東城弥恵 バリトン:今井俊輔 ピアノ:河原忠之
  - ・平成30年2月21日(水)「カルテットが紡ぐ極上の響き」  
ヴァイオリン:漆原啓子、漆原朝子 ヴィオラ:大島亮 チェロ:辻本玲
  - ・平成30年3月1日(木)「変奏曲とソナタへの誘い」  
チェロ:堤剛 ピアノ:小山実稚恵

### 3 調査研究及び権利擁護活動(調査、資料収集)

#### (1) 「演奏年鑑2018 音楽資料(通巻第44号)」の刊行

＝文化庁委託事業「平成29年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」＝  
B5判 586頁 1,450部 関係機関及び資料提供団体等に配布。

様々な形態で開催されているクラシック音楽の演奏会を都道府県別にジャンル分けして数値化した統計表の他、楽界展望、受賞・コンクール記録はじめ音楽関連団体・音楽家人名録、ホール便覧に加えて新進演奏家の活動の指針となるテーマを重点的に調査し掲載したものを約590頁にまとめ発行した。紙媒体のみならず、当連盟のWebサイトで閲覧可能な情報について可能な限り公開するよう努めた。

#### (2) 機関紙・月刊「えんれん」の発行と情報誌「ぶらあぼ」の配布

B5判 8頁建 3,610部 会員及び関係団体等に無料配布。

国の芸術文化予算はじめ芸術文化行政に関する事項、国公立音楽系大学の教員公募やオーケストラ楽員募集など、我が国の楽界における様々な情報をまとめ機関紙として毎月1回発行し、情報の周知に努めた。

#### (3) 著作隣接権の権利擁護と個人分配に協力

一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPNを構成する団体の一員として、演奏家が有する著作隣接権の様々な諸権利に基づく報酬が適正に分配されるよう、広報活動、委任契約促進活動などを積極的に行った。また、MPNに設置したクラシック委員会(日

本音楽家ユニオン、日本オーケストラ連盟、日本演奏連盟)の中心団体としてクラシック部門の報酬分配のための作業を積極的に推し進め、2015年度徴収分のクラシック部門の個人分配作業を行った。

2015年度徴収分…647件 61,369,859円

#### (4) 芸術家会議の活動、その他芸術文化団体との連携協力

日本演奏連盟が事務局を務める芸術家会議は全国の41の芸術創造団体で構成する組織で、会員団体はオーケストラ、オペラ、合唱、バレエ、演劇、伝統芸能など幅広いジャンルで構成されている。当会議では設立以来45年以上にわたり国の文化予算の拡充及び芸術団体に対する税制改正等を求める活動を行ってきた。

平成29年度は、6月に改正された「文化芸術基本法」の第7条で定める「文化芸術推進基本計画」の策定に向けて芸術家会議としての意見をとりまとめ、文化政策部会のヒアリングで意見を表明するなどの活動を行った。その後、文化審議会などでの議論を経て、平成30年3月6日に第1期文化芸術推進基本計画が閣議決定され4つの目標が定められたが、中でも「文化芸術の創造・発展・継承と教育」が目標1に定められたことの意味は極めて大きい。この目標を中長期的に実現するため、平成34年度までの5年間に6つの戦略(「今後5年間の文化芸術政策の基本的な方向性」)が定められており、文化芸術を次世代へ確実に継承するとともに、豊かな文化芸術教育の充実を図ること、また多様で高い能力を有する専門的人材の確保・育成などの観点が打ち出された。現在、芸術家会議が加盟する文化芸術推進フォーラムを中心に「五輪の年には文化省」を合言葉として、文化省の創設を目指して様々に取組んでいるが、文化芸術を取り巻く環境が大きく変化する中で、文化省創設の機運が広く国民に浸透するよう、世論喚起に向けて更なる活動を展開する必要がある。

一方、東京都に対しては都民芸術フェスティバルに参加する8団体を構成員に東京都芸術文化団体協議会を組織し、その事務局として平成29年度においても東京都における芸術文化予算の拡充を求める要望を提出する等の活動を行った。

#### (5) 世界の国際音楽コンクール開催要項の収集と情報提供

ホームページや演奏年鑑で、国際音楽コンクールに関する情報を発信した。

#### (6) WebサイトやSNSを活用しての情報発信

当連盟のWebサイト、Twitter、Facebookを通じて事業・催事案内、入会案内、著作権隣接権、教員公募、楽員募集など音楽界に関わる様々な情報を発信するとともに、演奏会チケットのインターネット予約販売を行った。

### 4 助成・奨学活動(応募型)

#### (1) 増山美知子奨励ニューアーティストシリーズ(年間5公演以内)

ソプラノ歌手の増山美知子さんから提供された資金をもとに、35歳以下の若い演奏家の本格的自主公演に対して経済的援助(1公演10万円)を行った。

応募件数/17件 採択/5公演

- ・平成29年6月20日(火) 入江真歩ヴァイオリンリサイタル/東京・杉並公会堂小ホール
- ・平成29年8月5日(土) あこがれVol.2 澤原行正テノールリサイタル「ラ・ボエーム」ハイライト公演/広島・くれ絆ホール
- ・平成29年10月21日(土) 丸山耕路ピアノリサイタル バッハその響きの宇宙へ/大阪・東梅田教会
- ・平成29年10月26日(木) 會田瑞樹ヴィブラフォンソロリサイタル~はじまりの場所~ /東京・杉並公会堂小ホール
- ・平成30年2月7日(水) 宇野健太チェロリサイタル/大分・パトリア日田小ホール

## (2) 宗次エンジェル基金／公益社団法人日本演奏連盟新進演奏家国内奨学金制度（給付型）

特定非営利活動法人イエロー・エンジェル（愛知県名古屋市の宗次徳二理事長から支援を得て、プロのクラシック音楽の演奏家を志す全国の優秀な学生、若手演奏家に対し、教育機関での学業費用または国内での研修費用等を支援する奨学金制度（返済不要の給付型で月額5万円）を29年度も実施した。平成29年度は、書類審査、CD審査、実技審査を経て下記の15名を平成30年度奨学生に決定した。なお、当制度の支援期間は最長で2年間までとなっている。

応募総数 58名 奨学生 15名

新規：秋山紗穂（ピアノ）、石田滉（ソプラノ）、井上祐吾（ヴィオラ）、  
岸本萌乃加（ヴァイオリン）、五島知美（サクソフォン）、  
阪本玲歌（ヴァイオリン）、杉山沙織（メゾソプラノ）、鐵百合奈（ピアノ）、  
成田伊美（メゾソプラノ）、福田俊一郎（ヴァイオリン）

更新：秋元孝介（ピアノ）、伊藤優里（フルート）、小川栞奈（ソプラノ）、  
前川健生（テノール）、山下裕賀（メゾソプラノ）

また、当連盟は平成26年にロシアの在サンクトペテルブルク日本国総領事を通じて、サンクトペテルブルクにある国営非営利の若手演奏家育成組織である「音楽の家」（芸術監督セルゲイ・ロルドゥギン氏／チェリスト）との間で、若手演奏家の相互派遣を行った。今年度、改めて相互派遣について打診があり、当連盟として平成27、28年度の宗次エンジェル基金奨学生であったピアニストの黒岩航紀氏をロシアに派遣することとなり、サンクトペテルブルクにおいてオーケストラと共演する貴重な機会を得た。ロシアからは「音楽の家」の推薦によりヴァイオリニストのパーヴェル・ミリューコフ氏を招へし、2018都民芸術フェスティバルの一環にオーケストラと共演する場を提供した。

サンクトペテルブルク「音楽の家」“Geografiya Tradicii”

・平成29年12月13日（水）ベロセリスキ・ベロゼルスキ宮殿「鏡の間」

指揮：アレクサンドル・ティトフ

管弦楽：サンクトペテルブルク国立アカデミーシンフォニーオーケストラ

ピアノ：黒岩航紀

ブームス：ピアノ協奏曲第1番 ニ短調 作品15

日本演奏連盟 2018 都民芸術フェスティバル オーケストラ・シリーズNo.49（再掲）

・平成30年3月15日（木）東京芸術劇場コンサートホール

指揮：梅田俊明

管弦楽：東京都交響楽団

ヴァイオリン：パーヴェル・ミリューコフ

チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35

## 5 啓蒙・啓発活動

### (1) 日本演奏連盟の後援名義使用承認状況

会員が主催するリサイタル及び室内楽、または各種演奏団体が主催する催事について〈後援名義使用申請〉を受けて常任理事会で協議し、後援名義使用を承認した。

・年間申請件数 144件 うち承認件数 144件

### (2) 「コンサート・アシスト」事業の実施

演奏家の自主リサイタルの開催を有料でサポートする事業をコンサート・アシストとして実施した。平成29年度は2公演のマネジメントを行った。

・平成29年7月19日（水）阿部菊枝ピアノ・リサイタル／めぐろパーシモンホール小ホール

・平成29年11月20日（月）桐榮哲也ピアノリサイタル～1stCD発売記念／トッパンホール

## II その他の事業（相互扶助等事業）

### 1 会員向け事業

#### (1) 「山田康子奨励・助成コンサート」（年間6公演以内）

ピアニストの故山田康子さんから提供を受けた資金をもとに、会員が主催する意欲的かつ創造的な演奏会に対して経済的な援助を行う事業で、助成枠を年間6公演以内とし、常任理事会で厳正に審査し決定した。今年度は6公演を助成した。

（総申請件数 10件）

- ・平成29年5月27日（土）・28日（日）、6月4日（日）  
小林響率いるA・レブランク弦楽四重奏団／キングスウェルホール、東京文化会館小ホール
- ・平成29年9月16日（土）浅野真弓室内楽シリーズ第2回「Duo」with 辻本玲／王子ホール
- ・平成29年9月17日（日）吉岡次郎フルートリサイタル協奏曲シリーズ「Sturm und Drang II」／よみうり大手町ホール
- ・平成29年10月4日（水）中村静香&深沢亮子デュオ・リサイタル／東京文化会館小ホール
- ・平成29年10月19日（木）瀬尾久仁&加藤真一郎ピアノデュオ・リサイタル2017／東京文化会館小ホール
- ・平成29年10月27日（金）藤井奈生子メゾソプラノ・リサイタル vol. 15／ルーテル市ヶ谷センター

#### (2) 「日本演奏連盟会員名簿」（年1回）の発行

B5判 124頁 3,450部 11月に全会員に配布。

#### (3) 福祉厚生に関する互助業務

互助規程に則り、互助給付を行った。

互助給付の最近の実績

（単位：千円）

給付内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
入院給付	1,340 (16件)	3,020 (27件)	1,275 (11件)	860 (10件)
死亡給付	770 (9件)	1,510 (16件)	580 (6件)	620 (8件)
健診補助給付	160 (54件)	158 (53件)	155 (52件)	137 (46件)
永年祝金給付	1,224 (23件)	1,458 (26件)	1,080 (19件)	1,452 (27件)
熊本地震会費免除分及び見舞金			323 (14件)	
合計	3,494 (102件)	6,146 (122件)	3,413 (102件)	3,069 (91件)

#### (4) 芸能に従事する人の国民健康保険等の事務取り扱い

公法人東京芸能人国民健康保険組合が管理する国民健康保険への加入の事務取り扱いを行った。

平成30年3月末現在の加入状況は、次のとおり。（ ）内は前年実績

- ・芸能人国民健康保険加入者 52人 (53人)

また、当連盟と提携している東京海上日動火災保険株式会社との所得補償保険、傷害保険・賠償保険の事務手続きを行った。

#### (5) 会員のための税務相談

顧問税理士による会員のための税務相談を確定申告時期に実施し、申告書作成に協力した。

## 平成 29 年度事業報告書の附属明細書

平成 29 年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。